

健脚そろい熾烈なV争い

松阪競輪場開設72周年記念「蒲生氏郷杯王座競輪」は、10月7日〜10日の日程で開催される。今シリーズは吉田拓矢、清水裕友、佐藤慎太郎のSS班3名をはじめとして太田竜馬、三谷竜生、新山響平、諸橋愛ら全国各地から健脚が集結。地元勢は浅井康太、坂口晃輔らが一丸となって強豪を迎え撃つ。4日間に渡って繰り広げられる熾烈なV争いからは目が離せない。

上位陣の実力は拮抗している。優勝候補は5指に余る大混戦。どこからでも狙えそうだが、本命には吉田拓矢を推した。今年はまだビッグレースでの優勝こそないものの、G3開催では1月立川記念、5月宇都宮記念、9月青森記念と3Vを達成している。共同通信社杯では準決で

無念の3着失格を喫したが、二次予選Bでは逃げて2着に粘っていき動きは悪くなかった。好位置キープから自力を繰り出して優勝をものにしよう。同県の吉澤純平が吉田を盛り立てる。最近の吉澤は伸びが良く、オールスターでは久しぶりのG1優勝を果たすと、共同通信社杯は⑨②③②着、一次予選敗退も3回の確定板入り。6月取手記念で吉田のまくりに乗って優勝した実績もあり、これも吉田の仕



吉田拓矢

掛け次第では単望める。関東では諸橋愛も優勝争いを賑わす実力者だ。オールスター②②落⑤①着、8月函館①②①着、共同通信社杯③④④①着など相変わらず安定プレーを演じている。突っ込みには警戒したい。

清水裕友を重視する手もある。太田竜馬、町田太我など中国地区の自力型がそろったここは、展開の利を得られる可能性は大いにある。今年の太田は調子の波が少なく、F1戦で6Vを飾っている。ビッグレースではオールスターでシャイニングスターに乗ると、共同通信社杯は①②着で準決にコマを進めた。町田も共同通信社杯では、敗者戦ながら逃げて2勝を挙げている。今年の清水はウイナーズカップで連覇を果たしたものの、他には優勝がないだけにそろそろ美酒に酔いたい。



佐藤慎太郎

から勝ち星をゲットして改めて実力者ぶりをアピールする内容だった。佐藤が頼りにするのは新山響平。共同通信社杯での動きは今一つだったが、オールスター、9月青森記念と続けて決勝に乗るなど、自慢のスピードは一級品だ。主導権さえ握れば好勝負に持ち込める。

成績を高いレベルでまとめている佐藤慎太郎も有力な優勝候補だ。ダービー準V、サマーナイトは決勝3着など、現在の賞金獲得ランキングは第4位で、グランプリ出場に向けて視界は良好。共同通信社杯では決勝で落車も、準決は俊敏なコース取り

準決で落車のアクシデントに見舞われたので、体調には一抹の不安が残るものの、影響がないようなら主役を演じて不思議ではない。坂口晃輔が浅井とタッグを組む。4月岸和田の決勝、9月小倉の決勝はいずれも浅井に食い下がって準V。地元ワンツー決着もありそうだ。



清水裕友

三谷竜生、山田久徳の近畿コンビも忘れてはならない。三谷は柔軟性を兼ね備えた自力攻撃が冴え渡っていて、9月小松島では3連勝を飾っている。うまくレースの流れに乗って自力を出せればSS班をまとめて撃破してもおかしくない。



この先は険しく困難な
進めるかさえ分からぬ道。
しかし己で決めた道。
進め、己の道を。

開設72周年記念
蒲生氏郷杯王座競輪 [GIII]
2022年10月7日(金) 8日(土) 9日(日) 10日(祝)

松阪競輪場 47# KEIRIN-JP 47# Dokanto 競輪は適度を楽しみましょう。車券の購入は20歳以上から。競輪は、売上金の一部で、ものづくり・スポーツ・社会福祉の推進など、社会に役立つ様々な活動を実施しています。

「蒲生氏郷杯王座競輪」 出場予定選手

※2022年9月26日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	115.95	S1	雨谷一樹	栃木	96期	109.65	S2	山田幸司	神奈川	78期	95.55	S2	坂田章	高知	93期	95.40
SS	清水裕友	山口	105期	112.83	S1	根本哲史	秋田	97期	103.86	S2	北野武史	石川	78期	99.56	S2	岡光良	埼玉	94期	101.94
SS	吉田拓矢	茨城	107期	114.54	S1	黒田淳	岡山	97期	103.64	S2	山崎充央	東京	79期	95.47	S2	白上翔	滋賀	95期	93.56
S1	内藤宣彦	秋田	67期	107.67	S1	窓場千加頼	京都	100期	104.14	S2	伊勢崎彰大	千葉	81期	103.83	S2	佐藤博紀	岩手	96期	101.20
S1	村上義弘	京都	73期	105.50	S1	吉澤純平	茨城	101期	114.12	S2	土屋裕二	静岡	81期	100.86	S2	磯田旭	栃木	96期	104.73
S1	伏見俊昭	福島	75期	104.33	S1	三谷竜生	奈良	101期	113.65	S2	中村昌弘	広島	81期	101.48	S2	西村光太	三重	96期	102.48
S1	諸橋愛	新潟	79期	115.33	S1	渡邊雄太	静岡	105期	112.60	S2	松崎貴久	富山	82期	100.62	S2	佐方良行	熊本	97期	98.94
S1	大塚健一郎	大分	82期	105.60	S1	岡本総	愛知	105期	107.67	S2	西村豊	三重	84期	95.69	S2	志村龍己	山梨	98期	102.63
S1	竹内智彦	宮城	84期	104.29	S1	新山響平	青森	107期	112.56	S2	加藤圭一	神奈川	85期	100.17	S2	東矢昇太	熊本	98期	96.29
S1	湊聖二	徳島	86期	106.00	S1	太田竜馬	徳島	109期	113.41	S2	三ツ石康洋	徳島	86期	100.55	S2	松岡孝高	熊本	98期	96.25
S1	山賀雅仁	千葉	87期	107.15	S1	血屋豊	三重	111期	107.39	S2	近藤俊明	神奈川	87期	98.84	S2	泉慶輔	宮城	99期	99.86
S1	五十嵐力	神奈川	87期	100.60	S1	藤井侑吾	愛知	115期	0.00	S2	金成和幸	福島	88期	98.14	S2	上吹越俊一	鹿児島	99期	97.66
S1	桐山敬太郎	神奈川	88期	103.19	S1	岩谷拓磨	福岡	115期	107.19	S2	河野通孝	茨城	88期	104.79	S2	木村弘	青森	100期	103.55
S1	松坂洋平	神奈川	89期	106.80	S1	町田太我	広島	117期	109.87	S2	松村友和	大阪	88期	103.24	S2	伊東翔貴	福島	100期	100.58
S1	橋本強	愛媛	89期	109.37	S2	中澤央治	大阪	59期	97.63	S2	大崎飛雄馬	愛媛	88期	97.64	S2	太刀川一成	千葉	100期	98.09
S1	浅井康太	三重	90期	115.53	S2	武田哲二	京都	65期	93.73	S2	五日市誠	青森	89期	104.48	S2	一戸康宏	埼玉	101期	99.68
S1	小岩大介	大分	90期	107.79	S2	藤原誠	岐阜	69期	97.81	S2	甲斐康昭	群馬	89期	95.88	S2	月森亮輔	岡山	101期	103.73
S1	天田裕輝	群馬	91期	102.89	S2	西浦仙哉	三重	73期	97.04	S2	古屋琢晶	山梨	90期	100.21	S2	才迫開	広島	101期	105.93
S1	柴田洋輔	東京	92期	104.82	S2	荻野哲	神奈川	75期	93.35	S2	原田泰志	新潟	91期	93.62	S2	大西貴晃	大分	101期	99.60
S1	山田久徳	京都	93期	108.89	S2	富弥昭	山口	76期	95.18	S2	高橋和也	愛知	91期	100.00	S2	小酒大勇	福島	103期	97.03
S1	近藤保	千葉	95期	105.46	S2	城戸崎隆史	福岡	76期	92.26	S2	山田義彦	埼玉	92期	97.71	S2	中井俊亮	奈良	103期	104.52
S1	坂口晃輔	三重	95期	111.61	S2	八谷誠賢	福岡	77期	97.31	S2	伊藤信	大阪	92期	107.05	S2	新納大輝	鹿児島	103期	99.08

伊藤 信 (大阪/92期)

相変わらず勝ち星が多い。9月小田原の予選では今年23勝目を挙げていて、勝率は48.9%、5割に迫る勢いだ。7月佐世保記念の準決ではまくって2着の実績もあり、上位戦でも一発の魅力を秘めている。



橋本 優己 (岐阜/117期)

4月別府でS級初Vを達成。その後もF1戦の予選、準決は1着が多いし、オールスター、共同通信社杯でも一般戦ながら勝ち星をゲットしている。機動力を遺憾なく発揮できれば格上の相手を撃破も。



木村 弘 (青森/100期)

直近4カ月の連がらみの決まり手は75%が逃げてのもので、相変わらず競走は積極的だ。今期はまだ決勝には乗れていないものの、ここ5場所の初日は2勝、2着2回、3着1回。同格戦はアタマで狙える。

地元地区推奨選手

俺の出番だ!!

皿屋 豊

(三重/111期)



ホームバンクの当所には9月に参戦して 2①②着とオール連対。優勝は逃がしたものの、3日間逃げて粘っている。今年はまだG3開催で優参がないだけに、熟知のバンクで結果を出したい。

西村 光太

(三重/96期)

しばらくビッグレースから遠ざかっていたが、今年はサマーナイト、共同通信社杯に参戦。共同杯では2回の確定板入りを果たしている。一次予選はもちろん、二次予選でも軽視できない。



「蒲生氏郷杯王座競輪」 出場予定選手

※2022年9月26日時点

選手名	所属	期	出走	成績	直近4ヶ月 前期得点	直近12場所 成績	総合評価
諸橋 愛	モロハシ	79期	173cm74	45	115.33	0	0
太田 竜馬	徳島	109期	175cm71	26	113.41	16	6
新山 響平	青森	107期	171cm71	28	112.56	2	19
吉澤 純平	茨城	101期	170cm74	37	114.12	8	4
三谷 竜生	奈良	101期	168cm77	35	113.65	4	13
浅井 康太	三重	90期	179cm75	38	115.53	0	7
吉田 拓矢	茨城	107期	172cm73	27	114.54	12	9
清水 裕友	山口	105期	166cm78	27	112.83	9	6
佐藤 慎太郎	福島	78期	169cm73	45	115.95	0	0